

合計	神鹿宮	神鹿宮	神鹿宮
	神鹿宮	神鹿宮	神鹿宮
	神鹿宮	神鹿宮	神鹿宮
	神鹿宮	神鹿宮	神鹿宮

北白川宮殿下御行列ヲ活動寫眞ニシテ爲メ撮影シタル件

一月六日 中策 八 號

北白川宮殿下御行列ヲ活動寫眞ニシテ爲メ撮影シタル件  
 大正六年秋 北白川宮殿下御渡臺ノ砌臺灣總督府學務  
 部ニ於テ學童ノ精神教育材料トシテ御行列ヲ活動  
 寫眞ニ撮影シタルカ本件撮影ハ大正六年五月二十八日內務省  
 秘書八七。第及七月十九日內務省內務第一一第ニ達及スルヲ以テ  
 將來之爲保存及利用方ニ関シ總督府ニ於テ目下研究中ナリ  
 狀況ニ依リ  
 總督府學務部ニ於テ殿下渡臺ノ狀況ヲ活動寫眞ニ撮  
 影シ直ニ殿下ヲ拜シ得サリシ條件ノ學童ニ觀覽セシメ  
 精神教育ノ材料トシテ企圖ヲ以テ豫メ總督ニ出願シタル處  
 秘書課長ハ撮影取締ノ通牒アルヲ知ラス大正五年 閣院宮殿下  
 御渡臺ノ際活動寫眞ニ撮影シタル例ニ依リテ支障ナキモノト

聞由相成候モ差支無之義ト存候右取敢



次官  
 主官  
 主官  
 主官  
 主官

七一七

シテ之ヲ許可シタリ依テ土木局技師員ニ花シ各地ニ於ケン御成ノ  
狀況ヲ撮影シタリ

二十月二十三、四日殿下臺中御視察中臺灣憲兵隊長ハ  
御行列ニ倍列シ偶々撮影ノ狀況ヲ目撃シタルヲ以テ警備局  
長通牒ノ趣旨ニ依レハ如何ナル場合ト雖モ撮影相成ラサル  
絶對的ノモノナルヲ以テ同行ノ警視總長ニ此趣旨ヲ告クルト共ニ  
之カ取締方ニ付協議ノ結果一度許可シタルモノヲ今直ニ警  
察權ヲ以テ差止ムルハ總督ノ威信ニモ關シ穩カナラサル故ヲ以テ  
後日適當ノ方法ヲ謀スルコトシ其儘ニ未ダ臺北歸來後  
警視總長ヨリ學務部長及秘書課長ニ對シテ警告告ヲ  
與ヘタリ

然ルニ學務部長ニ於テハ一旦撮影シタル後ソコトナルト且趣旨  
カ他ノ營業的ノモノト全然性質ヲ異ニスルノ理由ニ依リ紀念トシ

之ヲ保存シ教育ニ利用スルノ希望ヲ有レ十二月二十七日學務部  
長ノ申出ニ依リ臺灣憲兵隊長及警察本署保安課長主  
會上實寫ノ下檢閲ヲ行ヒタル結果將來許可セラレタリトスルニ  
二三修正ノ點及警察取締トシテハ絶對ニ不許可ノ意見ヲ陳  
述シ之レカ許否ニ就テハ更ニ宮内省トノ交渉手續ヲ要スヘク  
注意シタルカ學務部ニ於テハ之ヲ以テ特定ノ紀念日或ハ  
故大宮殿下ノ祝祭日等ニ際シ學童ノ精神教育上ニ利用セン  
タメ總督府ヨリ宮内省ニ對シ影寫方ノ許可ヲ仰カン希望ヲ  
有レ目下之ニ付研究中ナリ

四第一項學務部ノ願出ニ對シ當時秘書課長カ之ニ許可ヲ  
與ヘ又警察本署ヨリモ何等ノ措置ニ出ラザリシハ前記警備  
局長ノ通牒カ總督府及警視總長ハ内務省又ハ板垣局  
ヨリ全ク通知渡ナリシカ爲メ支障ナキモノト信シ居リタルモノ

聞相候モ差支無之義ト存候右取敢

ナリト聞ク

(丸)

1601

方正六年十二月十日

書翰長

書翰長

書翰案

拜復  
初冬、候益々御階穆奉慶賀候陳若御申越  
ニ係ん巡番配置請願ノ件ハ御意見ノ通御  
聞由相成候モ差支無之義ト存候右取敢

私 〇



ナリ